



5月



えんだより

ともしび保育園 5月1日発行

新年度がスタートして 1 ヶ月が経ちました。新入園の子どもたちもだいぶ慣れてきました。特に新入園児が 2/3 を占める 1 歳児りす組では、朝はまだ泣いてしまう子もありますが、日中の活動や信頼できる保育者がいると泣き止み、遊ぶ姿が見られていました。このように新しい環境に慣れ、新しい保育者（大人）にも慣れていく子どもの適応力の高さには毎年驚かされます。

在園の子どもたちは一つクラスが進級して、特に 3 歳児こぐま組は 1 階に降りてきてがらりと環境が変わりました。3 歳児になり、幼児組と呼ばれるようになると、誕生会も椅子に座って参加したり、4 歳児ぱんだ組や 5 歳児きりん組と一緒に過ごす事も多くなりました。4/25（金）には、「進級おめでとう遠足」に 3 クラスで砂町公園へ行ってきました。こぐま組の子はきりん組のお兄さんやお姉さんと手を繋ぎ、初めていく公園まで歩きました。きりん組の子は車道側を自分たちが歩き、歩くスピードもこぐま組に合わせていました。保育者からの発信ではなく、子どもたちが気付いたら周りの子にも知らせてあげる姿に、年長としての自覚が垣間見える場面でした。今の年長も、2 年前のこぐま組の時の優しくされた経験が記憶に残っているのだと思います。昨年の年長さんに「年長としての 5 箇条」を引継いだりし、代々年長の姿が受け継がれていくのを見られるのも、保育園での楽しみの一つです。

園長 渋谷 順一